

●市民意向調査

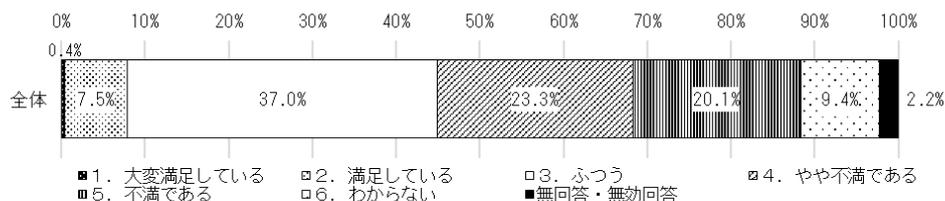
①まちづくり市民アンケート調査

○調査概要

調査期間	平成 30 年 9 月 25 日 (火) ～10 月 12 日 (金)
調査対象	沼津市に在住する 20 歳以上の市民 3,500 人
抽出方法	住民基本台帳データより無作為抽出
調査方法	郵送調査法
有効回答数	1,423 票 (有効回答率 40.7%)

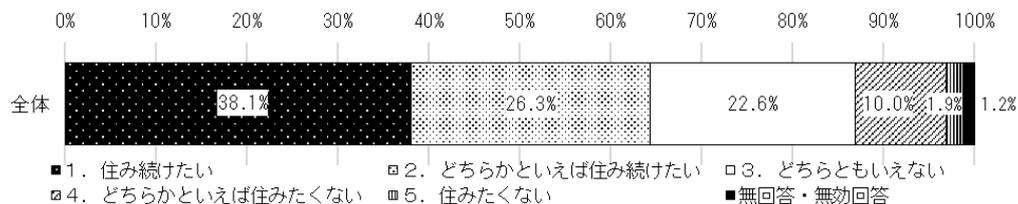
○沼津市の政策全体についての満足度

沼津市の政策全体に「大変満足している」「満足している」を合わせた回答は 7.9% であり、逆に「やや不満である」「不満である」を合わせた回答は 43.4% である。不満の回答が満足の回答の約 5.5 倍となっており、市政に対する満足度は低いといえる。



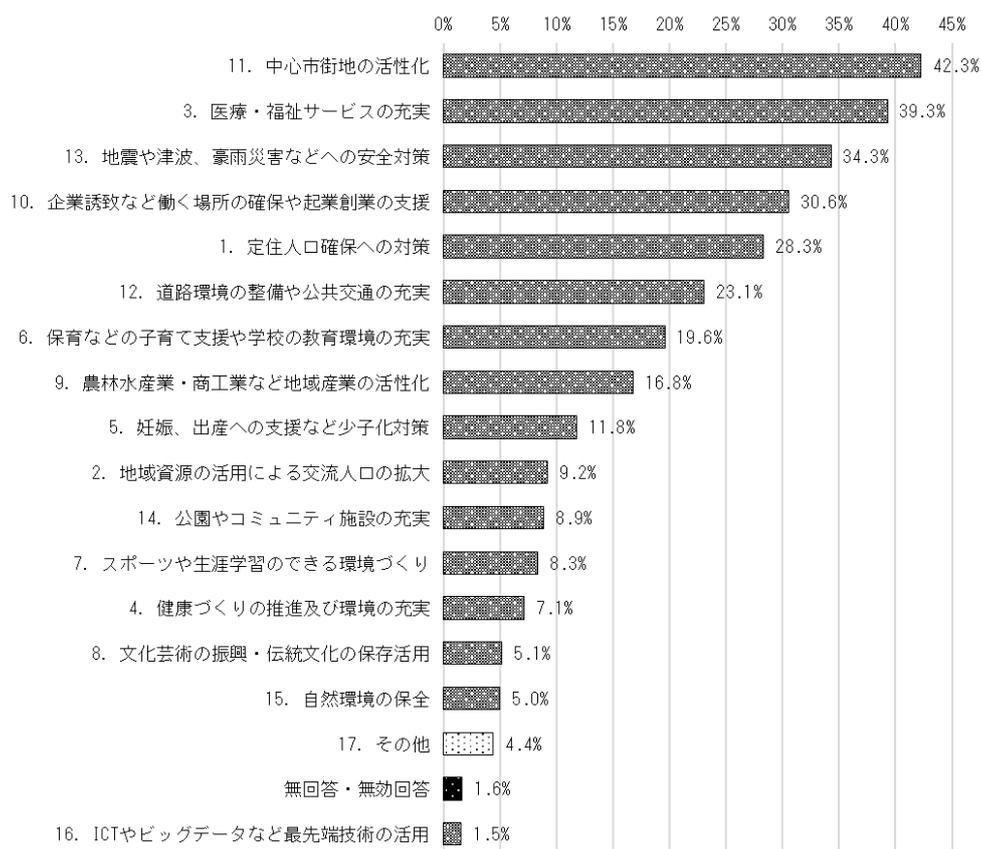
○沼津市への定住意向

沼津市に「住み続けたい」との回答が最も高く 38.1% であり、次いで「どちらかといえば住み続けたい」が 26.3% であり、両者を合わせた住み続けたいの回答が 64.4% と過半数を占めている。一方、「どちらかといえば住み続けたくない」10.0%、「住みたくない」1.9% であり、両者を合わせた住みたくないの回答は 11.9% であり、住み続けたいの回答が約 5.4 倍多くなっている。



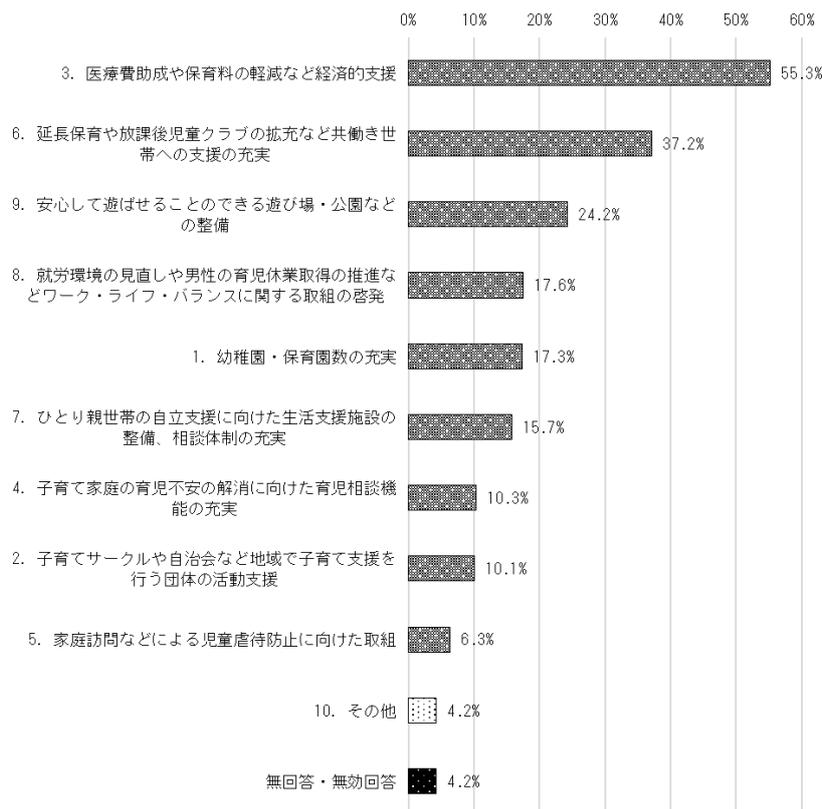
○沼津市が取り組むべきと思う事項

沼津市が今後取り組むべきと思う事項は、「中心市街地の活性化」が42.3%で最も高く、次いで「医療・福祉サービスの充実」39.3%、「地震や津波、豪雨災害などへの安全対策」34.3%、「企業誘致など働く場所の確保や起業創業の支援」30.6%となっている。



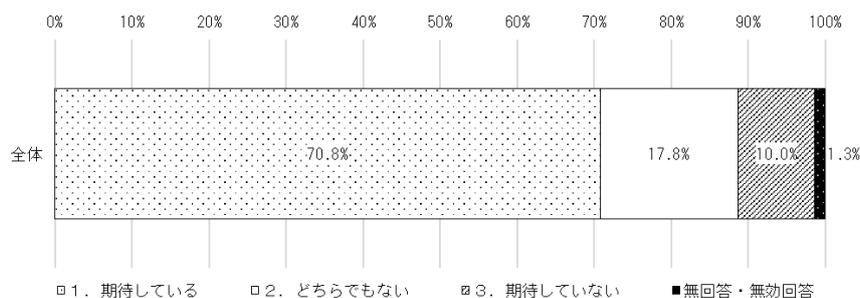
○定住人口確保に向けた子育て世代の支援に必要なこと

定住人口確保に向けた子育て世代の支援として特に必要だと思うことは、「医療費助成や保育料の軽減など経済的支援」が 55.3%でもっとも高く、次いで「延長保育や放課後児童クラブの拡充など共働き世帯への支援の充実」37.2%、「安心して遊ばせることのできる遊び場・公園などの整備」24.2%となっている。



○リノベーションまちづくりについて

リノベーションまちづくりについては、「期待している」が 70.8%で、「どちらでもない」17.8%、「期待していない」10.0%となっており、市民の関心度は高いといえる。



②H22～H30の市民意識の変化

第4次沼津市総合計画の施策実施前の平成22年度と平成30年度における「重要度が高い」、「満足度が低い」、「優先度が高い」施策の各上位5番までを下表にまとめ、市民意識の変化を確認した。

災害に強いまちづくりについては、H23の東日本大震災以降、毎年度、「重要度」、「優先度」とともに1位となっており、津波の危険に対する市民意識の高さが伺える。

H22-30ともに「満足度」が低い中心市街地の活性化と魅力ある空間づくりについては、近年「優先度」、「重要度」が増加傾向となっており、リノベーションまちづくりの認知度向上や鉄道高架事業の推進への期待、中心市街地の衰退への危機感が伺える。

また、公共交通の活性化と工業の振興、新産業の育成について近年「満足度」が低くなっており、少子高齢化を見据えた不安や企業誘致等の産業の活性化の必要性の認識が伺える。

平成22年度から変わらず「満足度」の低い商業・サービス産業の振興、体系的な交通網と交通環境の整備、「優先度」の高い高齢者福祉の充実、子育て環境の整備、安定した暮らしの支援については、引き続き重点的に取り組んでいく必要がある。

資源循環型のまちづくり、地球環境の保全、自然環境との共生は、変わらず「重要度」が高く、市民の環境保全意識は高い。

年度	重要度が高い (横軸)	満足度が低い (縦軸)	優先度が高い (バブルの大きさ)
H22	①資源循環型のまちづくり	①中心市街地の活性化と魅力ある空間づくり	①高齢者福祉の充実
	①地球環境の保全、自然環境との共生	②商業・サービス産業の振興	②災害に強いまちづくり
	③災害に強いまちづくり	③行政改革の推進	③安定した暮らしの支援
	④安定した暮らしの支援	④安定した暮らしの支援	④子育て環境の整備
	⑤高齢者福祉の充実	⑤体系的な交通網と交通環境の整備	⑤保健・医療の充実
H30	<u>①災害に強いまちづくり</u>	①中心市街地の活性化と魅力ある空間づくり	<u>①災害に強いまちづくり</u>
	②資源循環型のまちづくり	②商業・サービス産業の振興	②安定した暮らしの支援
	③安定した暮らしの支援	③体系的な交通網と交通環境の整備	③高齢者福祉の充実
	④地球環境の保全、自然環境との共生	<u>④公共交通の活性化</u>	④子育て環境の整備
	⑤市民生活の安全確保	<u>⑤工業の振興と新産業の育成</u>	<u>⑤中心市街地の活性化と魅力ある空間づくり</u>

*平成22年度と平成30年度における「重要度が高い」、「満足度が低い」、「優先度が高い」施策の各上位5番まで上表にまとめています。

